



タイのタクシー事情について

北陸銀行 国際部
バンコク駐在員事務所
吉田 雄司

1. タクシーを巡るトラブル

タイでは、タクシーを巡るトラブルについてよく耳にします。

例えば、「メーターを回してくれず、不当な料金を請求される」、「メーターが不正操作されており、料金が高額になる」、「行き先を告げると乗車拒否される」、「運転手が行先を間違える」等、原因は様々であり、トラブルに遭うのは外国人だけでなく、タイ人も同様に被害に遭っているようです。

2. 『Uber』の登場

嫌な思いをせずにタクシーに乗りたい。そんな思いを多くの人が抱く中現れたのが、アメリカ発の配車アプリ『Uber』です。

一般人が、好きな時間に自家用車を使って他人を運ぶシステムの『Uber』ですが、以下の点が利用者に評価され、今急速に拡大しています。

①配車時に料金が確定している。

さらに、クレジットカード情報を登録すれば、キャッシュレスで利用が可能。

②運転手は『Uber』のナビゲーションを見て目的地に行くため行先を間違えない。

③利用者と運転手を相互に評価する制度がサービスの向上につながっている。

タイの運輸省は、『Uber』を「正規に登録された車両以外のタクシーの営業を禁止する法律」に違反しているとし、現時点では合法と見なしていませんが、既に広く普及しているのが現状です。

3. 巻き返しを図るタクシー業界

前述の『Uber』の動きに対し、タクシー業界も抜本改革を進めており、今年1月には、『TAXI OK』プロジェクトを開始しました。

プロジェクトに参加するタクシーの車両には、GPS、乗客用の緊急ボタン、車内ビデオカメラが搭載されています。運転手、走行ルート、速度などの情報と車内のリアルタイムの映像をタイ運輸省陸運局の管理センターで監視し、安全運行とサービスの向上を図ることができるそうです。

4. おわりに

タイでタクシーを利用する際、トラブルに遭遇しないための対策の一例をご紹介します。ご参考になれば幸いです。

- ①タクシーに乗る際には、メーターの使用を確認し、メーターを使用せず価格交渉をするタクシーには極力乗らない。
- ②タクシーの運転手によってはタイ語しか通じない人もいるため、スマートフォンに搭載されている地図機能や、通訳アプリを活用し、行先を伝える。
- ③空港とバンコク市内の往復は、タクシーではなく、AOT(タイ空港公社)が運営するリムジンサービスを利用する。(比較的質の高い運転手、車、サービスにて安心して移動する事が出来ると定評がある上、リムジンサービスの受付では英語が通じます。)
- ④行先が複数ある場合、日系企業が経営する運転手付きレンタカー会社を利用する。(タクシーに比べ高額ですが、行程の相談やトラブル発生時に日本語で対応可能な会社が多く、安心感があります。)

『TAXI OK』プロジェクトで巻き返しを図るタクシー業界ですが、依然、タクシーを巡るトラブルのニュースは頻繁に現地メディアで報道されており、抜本的な改善はまだまだ時間を要しそうです。

以上

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
(株)人材情報センター内
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp